

道政を変えよう!

佐藤のりゆきさん 支援を決定 当選に全力!

私たち「明るい革新道政をつくる会」(略称「明るい会」)は、今度の選挙で佐藤のりゆきさんを
知事候補として支援し当選をめざすことを決めました。これは、「明るい会」が掲げた道政転換へ
の4つの共同目標を実現するための最良の選択だと考えたからです。佐藤のりゆき知事を誕生
させ、誰もが安心して住み続けられる北海道をみんなの力でつくりましょう。



悪政の旗振り役

3期12年 高橋道政

自民党政治のもとで、北海道は人口の減少、産業の衰退、地域の崩壊など大きな困難を抱えています。原発や平和、社会保障、教育をめぐっても国の悪政が道民に襲いかかっています。しかし、高橋道政の3期12年は「中央追従」であり、国の悪政の旗振り役を果たしながら道民を苦しめる伴走者となってきました。そして自らも福祉・教育を切り捨てる政治をすすめてきました。

道民の大同団結で道政転換を

佐藤のりゆきさんの考え方は、「明るい会」の4つの共同目標(下記)と大筋で一致しています。そして、佐藤のりゆきさんは、2月6日の記者会見で、民主党北海道や共産党北海道委員会が支援を検討していることについて「大変ありがたい」と歓迎の意向を示しました。高橋道政からの転換をめざして、道民の大同団結したとりくみをすすめます。

「4つの共同目標」での 基本的な一致・共同の意思

- 憲法** 平和憲法を守り、道政のすみずみまで憲法を活かすこと。
- 原発** 原発のない北海道、再生可能なエネルギーで地域づくりをすすめること。
- TPP** TPP交渉からの撤退を求め、北海道の農林水産業と地域経済を守ること。
- 貧困と格差** 貧困と格差をなくし、道民が安心して住み続けられる地域をつくること。

佐藤のりゆきさん — 支援決定までの経緯 —

「明るい会」は、昨年7月にアピール「道民の願いに応え、安倍暴走政治から平和と生活・権利を守る道政に」誰もが安心して住み続けられる北海道を」を発表しました。そして「道政転換への共同目標」を示し、4つの共同目標にもとづいて道政をすすめて

行ってきました。

同時に、かねてから立候補の意向を示していた佐藤のりゆきさんが11月4日に正式の出馬表明を行ったことから、「明るい会」の内外から佐藤のりゆきさんとの共同をふくめて検討するよう求める声が寄せられました。

そして、高橋道政を転換するためには、「明るい会」の4つの共同目標すべてで完全に一致しなくても、一つでも二つでも前進させられるような候補選考を求める声が強まりました。それは、昨年の沖縄県知事選挙での翁長知事の誕生や、総選挙の結果などを経ていっそう高まりました。「明るい会」の候補選考委員会は、このような経緯から「佐藤のりゆきさんとの共同の可能性を排除せず」に、その後の作業を進めてきました。そして、「政策の一致」と「共同の意思」の両面から検討をおこない、2月15日の加盟団体代表者会議で支援を決定しました。

北海道選挙 告示 3月26日(木)
北海知事 投票 4月12日(日)

道民の願いに背を向け続ける

地域・道民のくらしの実態 — 高橋道政がもたらしたもの —

北海道の人口は1998年をピークに減り続けています。道内の企業・事業所の減少率は全国9地区の中でワーストワンです。道内の農家戸数はこの10年間で3分の2に減っています。

北海道の労働者の賃金は全国平均よりも4万円以上低く、非正規雇用の比率も全国で2番目という高さです。

道民のくらしの困難さは、生活保護が10年間で1.4倍になり、就学援助も15年間で2.3倍となっていることにも示されています。

年金の削減は高齢者の生活だけでなく地域経済にも影響を与え、医療・介護・福祉の後退は道民のいのちと健康、くらしを脅かしています。



札幌への「一極集中」の一方で地域の疲弊・崩壊がすすみ、生活基盤が奪われて「買い物難民」「医療難民」「介護難民」をつくりだしています。

道内の港にアメリカの軍艦が頻繁に入港し、矢白別での演習は年々強化され砲弾が演習場外に着弾する事故も引き起こしています。

道民の困難に拍車

高橋知事は、道民の困難に拍車をかける道政をすすめてきました。本州などからの企業誘致のための補助金は大盤ふるまいしながら、中小企業支援のための融資枠は減らしました。そして、カジノ（賭博場）を「特区」として誘致しようとしています。

道内の国民健康保険への助成11億円は全額を廃止し、障害者・乳幼児・一人親世帯の医療助成制度に1割負担を導入しました。道立病院は、2000年の11病院から2014年には6病院だけになり、看護師不足が深刻ななかで高橋知事は道立衛生学院を廃止してしまいました。

道立高校は、高橋道政の前には245校だったのが2014年には203校へと42校も減りました。そして「情報提供制度」「日の丸・君が代の強制」など、教育への

どうしても道政の転換が必要です

今回の北海道知事選挙は、地域と道民のくらしを守る大事な選挙であるとともに、安倍自公政権による暴走にストップをかけるたたかいでもあります。今回の選挙の構図は、積み上げてきた「反原発」「TPP反対」「秘密保護法許すな」「憲法改悪反対」「労働法制改悪反対」など、一致点での共同の集大成として政治レベルで結実させる選挙です。



沖繩・滋賀・佐賀の県知事選での勝利に続いて、北海道でも必ず勝利して、「戦争する国づくり」「消費税大増税」「社会保障の解体」「労働法制の大改悪」などの暴走政治に反撃する痛打としましょう。

安倍「暴走政治」に痛打を

「原発のない北海道」を求める道民の運動がひろがって泊原発の再稼働を許していません。

管理・統制だけが強められています。



100回目の「道庁北門前反原発抗議行動」

- ◎長寿番組であるUHBテレビ「のりゆきのトーク DE 北海道」では、番組キャスターを1日も休むことなく、2012年（平成24年）までの約18年間つとめる。
- ◎著書に、これからの北海道の進むべきプランをまとめた「佐藤のりゆきの新北海道デザイン」、HBC大人のラジオ土曜は朝からのりゆきです！の番組で語られた「北海道発！佐藤のりゆきの僕からの手紙」など。
- ◎プライベートでは、円満協議離婚二回を経験し、現在の妻と再婚。趣味は道内巡りで、地域の人たちとの交流、美味しい食べ物探索。お酒も好み、特にワイン好きです。波乱万丈の半生ですが、これまでの番組の中で、視聴者・リスナーの皆さんに共感を頂いた人生相談は、こんな私の半生からだったのかも知れません。心身は至って健康で、42年間のアナウンサー・キャスター人生ではただの一回も休みや、不祥事などによる降板もなく、皆勤賞がわたしの自慢のひとつです。
- ◎北海道で生まれ、北海道に育てられ、北海道で仕事をさせて頂いた事をいつも誇りに思っています。いつかはこの北海道に骨を埋める身ですが、今までご支援頂いた道民の皆さんと共に、希望にあふれる、明るい未来を、この北海道で一緒に過ごせる為に、2014年11月4日、知事選への出馬を表明。

- 1949年11月18日 旭川市生まれ。生後まもなく札幌へ。
- 1968年3月 札幌北高校卒業。
- 1972年3月 北海学園大学法学部卒業。
- 1972年4月 北海道放送株式会社（HBC）アナウンス部に入社。
- 1994年 北海道のアナウンサー初のフリーに転身。各局の番組でキャスターを勤める。
- ・北海道大学創成研究機構客員教授



佐藤のりゆきさんのプロフィール

佐藤のりゆきさんの政策・政治姿勢

佐藤のりゆきさんが、これまでに記者会見などで公式に表明した政策・政治姿勢は次のようなものです。

暮らし 道民の命を守る 暮らしを守る 「子どもたちのために未来をつくる」

「基本姿勢」の中で「道民の命を守る、暮らしを守る、子どもたちのために北海道の未来をつくる」を掲げています。

原発 「私の考えは脱原発」
泊原発再稼働は道民投票をふまえて判断
原発問題とエネルギー政策について「私の考えは脱原発」としたうえで、泊原発の再稼働について「道民投票で意見を聞いて知事として判断したい」と述べています。

TPP 「北海道にとって一次産業の振興は不可欠」
TPPへの参加には到底賛成できない
TPP交渉に対する姿勢は「北海道にとって一次産業の振興は不可欠であり、TPP参加には到底賛成するわけにはいかない」と述べています。

憲法 集団的自衛権に反対
「解釈改憲は立憲主義に反する」
安倍内閣が閣議決定した「集団的自衛権」に対しては「反対です」とし、「解釈による事実上の憲法改正は立憲主義に反する行為であり無効だ」としています。